

～制限緩和を受けて～
市民の皆様へのメッセージ

藤沢市長の鈴木恒夫です。

緊急事態宣言が解除され、3週間以上がたちましたが、本市においても、新規感染者の公表が無い日もあるなど、新型コロナウイルスの感染状況は改善しつつあります。

市民の皆様や事業者の皆様におかれましては、非常に長い期間にわたり、外出自粛や営業時間短縮など、多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。

市民の皆様、感染は落ち着いておりますが、新型コロナウイルスが消滅したわけではなく、今までの感染状況に鑑みると、感染周期が2～3か月であることから、年末に向けた感染対策が必要となります。本市では、市民生活や地域経済を守ることを目的に、こうした周期や第5波までのデータなどを振り返り、第6波に向けた課題の洗い出しによる取り組むべき施策を検討しています。

まず、藤沢市民病院においては医療資器材を購入するなど、ウイルスに罹患した方の命をしっかりと守ることができるよう医療体制を強化してまいります。また経済対策として、11月1日から「ふじさわ元気回復デジタル商品券」の販売をはじめ、市内経済の活性化を図ってまいります。

ワクチン接種は、現時点で対象人口の8割を超える方が1回目の接種をすることができました。地域には予約の方法がわからないなどで未接種の方もいらっしゃると思います。希望される方がワクチン接種を受けられるよう、地域関係者や市職員による声掛けやチラシの配布など、ワクチン接種のサポートを行ってまいります。

感染の状況に落ち着きがみられる昨今ではございますが、基本的な感染防止対策を徹底して取り組み、生活の中に定着させることで、感染の再拡大を防ぎ、制限の

ない日常生活, 社会経済活動を取り戻せるようオールふ
じさわで取り組んでまいりましょう。

2021年(令和3年) 10月25日

藤沢市長

鈴木恒夫